

## 会 議 録

|              |   |
|--------------|---|
| 会議の名称        | 第2回 戸田市自治基本条例推進委員会  |
| 開催日時         | 令和2年2月18日(火) 午後7時00分～9時00分  |
| 開催場所         | 戸田市役所1階 東側休憩室   |
| 委員氏名         | <input checked="" type="checkbox"/> 横山 誠 <input type="checkbox"/> 雨木 恵美 <input type="checkbox"/> 柴田 忠雄<br><input type="checkbox"/> 山田 博満 <input type="checkbox"/> 細井 明美 <input type="checkbox"/> 岩本 恭幸<br><input type="checkbox"/> 播 義也 <input checked="" type="checkbox"/> 市川 悦夫 <input checked="" type="checkbox"/> 溝上 西二<br><input checked="" type="checkbox"/> 飯田 峻平 <input type="checkbox"/> 小野塚加代 <input type="checkbox"/> 林 公子<br><input type="checkbox"/> 三輪 なお子 <input type="checkbox"/> 林 冬彦 <input checked="" type="checkbox"/> 向野 絢子<br><input type="checkbox"/> 大沢 崇介 <input type="checkbox"/> 松下 啓一 <input type="checkbox"/> 大山 宣治<br><br>( <input checked="" type="checkbox"/> 委員長 <input type="checkbox"/> 副委員長 )<br>( <input type="checkbox"/> 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 欠席 ) |
| 説明のために出席した者等 | (前自治基本条例推進委員会委員)<br>石川 清明            浅生 和英  |
| 事務局他         | 市民生活部協働推進課<br>遠藤課長、石原主幹、秋元副主幹、元谷主任、水巻主任   |
| 議 題          | (1) 先進自治体への視察について(報告)<br>(2) 市長諮問内容について<br>(3) 自治基本条例フォーラム(仮称)について<br>(4) その他   |
| 会議の経過        | 別紙のとおり  |
| 会議資料         | 別紙のとおり  |

(会議の経過) 2 / 18 第2回戸田市自治基本条例推進委員会 会議録

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項  |
|-----|---|
|     | <p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p>   |
| 事務局 | <p>(1) 先進自治体への視察について(報告)</p> <p>・会議資料をもとに説明</p>   |
| 委員長 | <p>まず、参加した委員と事務局から、視察の感想をお話しいただきたい。</p>   |
| 委員  | <p>全体を通して、とても有意義な視察になったと思う。バスの中でも委員同士の交流を深めることができた。</p>   |
| 委員  | <p>これまでに業務で他市に視察に行く機会がなかったので、新鮮な気持ちで参加することができた。また、茅ヶ崎市役所の庁舎がきれいだったことが印象に残っている。</p>  |
| 事務局 | <p>バスの中だけではなく、全体を通して和やかな雰囲気の中で視察ができて良かった。</p> <p>他の自治体職員の話聞くのは久しぶりだったので、個人的に新鮮で非常に参考になった。</p>   |
| 事務局 | <p>茅ヶ崎市は行政職員だけの対応だったのに対して、戸田市は市民、市議会議員、行政職員が参加しており、三者が一丸となって取り組んでいて、とても雰囲気が良かったと思う。</p>   |
| 事務局 | <p>バスの中では委員同士の交流を深めることができてよかった。</p> <p>自治基本条例については、委員それぞれ立場がある中で、一緒に取り組んでいることを改めて認識することができた。</p> <p>茅ヶ崎市は、一つの条例に対して様々な部署の職員が説明をしていたが、このような手法はこれまでに行った視察先ではあまり見たこと</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>がなかった。一つの条例に対していくつもの部署が連携していることを実感した。</p>  |
| 委員  | <p>バスの中では委員同士の親睦を深めることができた。</p> <p>視察としては、時間が足りなくなるほど様々な部署の職員から説明をいただけて良かった。</p>  |
| 委員  | <p>前回の焼津市への視察は、直前に参加できなくなってしまったが、今回参加できて非常に有意義だった。</p> <p>当日は、事前に勉強してきたものをすべて出すつもりだったが、残念ながら時間が足りなかった。</p>  |
| 委員  | <p>皆さんとの交流を深めながら視察することができて良かった。こちらからの事前質問が多く、茅ヶ崎市からいただいた資料も多かったため、なかなかついていくのが大変で、あとから資料を見直したという感じだった。</p>   |
| 委員  | <p>茅ヶ崎市の職員に明るい雰囲気でもて迎えていただき、資料もたくさん用意していただいて準備が大変だったと思う。</p> <p>事前質問が多く、一つひとつについて説明いただいたため、時間に余裕がなかった。もう少し時間をとることができたら良かったと感じた。</p> <p>視察の最後に、茅ヶ崎市からエコバッグに関する質問が出たのは良かった。茅ヶ崎市は参加者が行政職員だけだったのに対して、こちらは三者で視察することができたのは良かった。</p> |
| 委員長 | <p>続いて、次の3点について、意見のある項目だけで構わないので、視察に参加した委員からご意見をいただきたい。</p> <p>その後、参加できなかった委員からも質問等いただければと思う。</p> <p>① 戸田市と茅ヶ崎市の違い</p> <p>② 茅ヶ崎市の取り組みの中で参考になるもの、戸田市に取り入れられそうなもの</p> <p>③ 他市の取り組みを見て改めて感じた戸田市の良い部分、戸田らしさ</p>                   |
| 委員  | <p>①茅ヶ崎市は市役所の庁舎が新しくとてもきれいだった。また、視</p>   |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>察に対応いただいた職員の人数も多かった（８、９人）。人口や予算が異なるため当然なのかもしれないが、市としてハード面や人員配置といった面で充実しているように感じた。条例の推進という面では、一言でいうと行政主導で進めているという印象だった。</p> <p>②行政主導でアクション・プランを策定しているが、自治基本条例のような抽象的なものを推進するためには具体化する必要があると感じた。具体策がなければ検証もできないと思う。茅ヶ崎市の手法を踏襲できるのかどうかは別として、戸田市も具体化することが必要ではないか。個別条例の整備や、補助金等のお金の問題も出てくる。その点も含め整備する必要があるように思う。</p> <p>③戸田市の良さとしては、行政任せではなく、市民主体で協働を進めていく気概があるように感じる。しかし、具体的に何ができているかを考えると、個人的にはまだ分からないというのが正直な感想である。</p> |
| 委員 | <p>②職員研修について、具体的な内容までは聞くことができなかったが、行政主導で進めているせいか、階層ごとに、段階的、体系的に組み立てられている印象を持った。戸田市でも今以上に体系的に学ぶ仕組みができると良いと感じた。</p>  |
| 委員 | <p>①茅ヶ崎市は行政主導、戸田市は三者協働で進めている点が大きく異なる点であると思う。</p> <p>条文を見てみると、茅ヶ崎市では、議会、市長、職員の「責務」と書いてあるのに対して、戸田市では「役割」という柔らかい表現を使っている。そこはとても良いと思った。</p> <p>②茅ヶ崎市では責務の内容が細かく書かれている。当たり前のことではあるが、改めて文字にして認識できたのは新鮮だった。どちらが良いのかは今でも悩むところだが、もしかしたら、アクションプランの策定、条文の検証、討議会などで出た意見に対しての返答などを通して、それぞれの役割を作っていくことも必要なかと思った。</p> <p>③戸田市の条文は表現がとても柔らかくて良いと思った。それは、行政だけではなく市民とともに作った結果なのだと感じた。</p>  |
| 委員 | <p>①茅ヶ崎市では、アクション・プランを作り、４年を超えない期間で条例自体の検証を細かく行っている。条例に対して常に検証の意識を持っているという点は素晴らしいと感じた。</p>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>また、条文の検証や学識経験者の意見聴取、市民アンケートの実施など、細かなスケジュールに則って常に検証を意識しているように思う。</p> <p>③行政側としては、進捗管理をしている行政総務課だけではなく、他の部署も巻き込んで計画的に推進している印象を受けた。あえて言うならば、良くも悪くも仕組みが固められ過ぎている印象を受けた。戸田市はその仕組みがまだできていない中で、様々な意見をもとに進めている点は良いと思う。</p> <p>②現状は条例の周知に力を入れているが、今より前進させるために、市民に対して自治基本条例をどう生かすか、という視点で協議をしていけば良いと感じた。</p> <p>委員 ①自治に市民を参画させる基本理念はどの自治体も同じであると思う。ただ、そこにいたる取り組みや手法を見ると、戸田市と茅ヶ崎市では差があると感じた。</p> <p>戸田市の現状を見ると、以前から何度か話をしているが、自治基本条例の理念と自治基本条例推進委員会の在り方がリンクしていない部分が多いと感じている。具体的活動を進める実行部隊の整備が必要であると思う。</p> <p>茅ヶ崎市は、条例もしっかり定めて、条例に基づく各部署の取り組み方も確立されている。型にはまりすぎている印象があるが、最初から市民だけでは進めることが難しい事を考えると、方法としては良いと感じた。茅ヶ崎市としては、ここまで進めてきて、今後どうするのが課題になるのではないかと。また、条例の見直しについては一つひとつの条文で実施しているのは印象深かった。</p> <p>②戸田市の自治基本条例フォーラムに近い位置づけで実施されている「市民討議会」については、文教大学、茅ヶ崎市青年会議所で構成されている実行委員会に事業を委託して実施されている。神奈川県大和市や茨城県常総市などでも似たような取り組みがされている。</p> <p>戸田市では、フォーラム等の具体的活動を進める実施機関、実行部隊を整備する必要があると思う。その際は、条例に沿った形で整理する必要があると思う。</p> <p>全体を通して振り返ると、視察の目的等について、事前にもう少し時間をかけて委員同士で共有できれば良かったと思う。</p> <p>委員 ①個人的に市民討議会について注目してみたが、年に2回、さらに</p> |
|--|---|

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>半日ほどの長時間で実施しており、大学、青年会議所などから若者が多く参加しているため、新しい意見、これまでとは異なる感覚の意見が出てくるのではないかと思います。</p> <p>②戸田市としては、平成30年度のフォーラムでは、10代、20代の参加がなかったので、今後は、これまで以上に若い人の参加を心がけていきたい。昨年視察した焼津市の「まちづくり市民集会」でも、グループの中に若者がいると雰囲気が変わった印象があったので、戸田市でも若者が増えれば変わってくるのではないかと思います。</p> <p>無作為抽出で案内が送付された市民のアンケート結果を見ると、市民討議会自体の内容については「おもしろそう」という回答が多かった。市民討議会について関心をもつ市民が多いのだと思う。また、案内の文面や内容によって興味の度合いが異なるのではないかと感じた。参加理由の中に、「市民の役割として大切だと思った」「市民討議会が興味深かった」という回答が多かったことを見ると、市民の意識が高いと感じた。戸田市でもそのように感じてもらえるように取り組んでいきたい。</p> |
| <p>委員</p>  | <p>①アクション・プランをもとに具体的に進められている点が良いと感じた。</p> <p>②市民討議会では、市内の大学と連携しているが、今は大学でもまちづくりについて学ぶことができる学部が増えているように思う。戸田市の自治基本条例も、大学生などの学生に知ってもらえると良いと思う。</p> <p>市民認知度については、戸田市と同じように課題にしているようだった。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>①戸田市と茅ヶ崎市では手法などが大きく異なるが、それは、条例制定に向けた取り組みのスタート時期が異なるからであると思う。2011年3月に発生した東日本大震災を境に、その前に制定された茅ヶ崎市と、震災の経験を経て制定された戸田市では、描いている協働の考え方や手法が大きく異なるのではないかと思います。</p> <p>また、これまでの委員の感想を聞いていると、一年前に聞いた焼津市の視察後の感想と比べてかなりレベルアップしているように感じた。昨年は様々な市民が参加する場を体験することを目的としていたが、今回は自分たちとは異なる手法を進めている自治体の話を聞くということで感想の内容や質も異なるのだと思う。</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
| <p>委員</p> | <p>茅ヶ崎市自治基本条例は、戸田市と比べてひとつ前のモデルであり、その中でも最後の方に制定されたものである（平成22年4月1日施行）。基本的には、「行政主導で進めればうまくいく」という考え方である。</p> <p>同じような進め方の例として、神奈川県厚木市が挙げられるが、条例の検証のために膨大な作業量を要しているようだが、効果としてはあまり大きいものではなかったようだ。</p> <p>先ほど委員長が言った通り、東日本大震災を境に、自治基本条例や協働の手法は大きく変わった。震災を経験し、まちづくりには市民の力が必要だという事で制定したのが、焼津市や戸田市である。</p> <p>自治基本条例の推進を具体化する実施プランについては、第一期の推進委員会で委員から提案があったと記憶している。しかし当時は、「現状の推進委員会では対応できないのではないか」というのが他の多くの委員の意見だった。当時の推進委員会の体制では、具体的なプランに落とし込むのは時期としてまだ早かったのかもしれない。</p> <p>それがある一定のレベルに達してくると、今のように具体的なプランの作成について検討するような流れになってくる。</p> <p>茅ヶ崎市では、総務部が所管しているため、市役所全体で全庁的に進捗管理、統制ができています。戸田市は市民生活部が所管しているため、できることには限界がある。戸田市としては、市民生活により近い形で、実践的なプランの作成に入っていく時期になったのかもしれない。</p> <p>茅ヶ崎市では、市民討議会を実施しているが、実施後のフィードバックが課題になっている。</p> <p>焼津市も、まちづくり市民集会の結果を次に生かす手法を模索している。まず、まちづくり市民集会の報告書を作成し、市長に報告するとともに、そこで出された意見を市役所内全体で共有する仕組みを作ろうとしている。それぞれの提案に対して各課でどう対応できるか、という手法を模索している。まずは市役所内での周知から取り組んでいるようである。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今話が出たように、条例が文字としてあるだけではなく、委員が様々な経験をして、様々なことを考えていく過程で条例の在り方も変わっていくと思う。条例で何かを制限するのではなく、三者が主体的に一つの仕組みを作り上げて、三者でまた意見を持ち寄っていくこと</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>で、戸田市における協働が新しい形に進化していくのではないかと思います。三者それぞれが自分たちの協働のために、それぞれの分野でアクション・プランに近いものを持つことも将来的には良いと思う。</p> <p>今回の視察結果を参考に、我々も今後改善していければ良いのではないかと。</p>    |
| 委員  | <p>推進委員会で作成したエコバッグは、北海道など様々な自治体に行く際に持っていきが、どの自治体でもとても評判が良い。市議会議員も一緒に作ったということで、参考にしたいという自治体もあった。</p>  |
| 委員長 | <p>視察に参加できなかった委員から、何か質問等あるか。</p>   |
| 委員  | <p>無作為抽出の参加者への謝礼について、もう少し詳しくお聞きしたい。</p>  |
| 委員  | <p>市民討議会は、ドイツで実施していた「プラーヌクスツェレ」という手法を参考に実施しており、ドイツでは4、5日で4～5万円程度の謝礼を支払って実施していたため、茅ヶ崎市でも当初は謝礼を支払っていた。しかし、謝礼の有無で参加率が大きく変わるものではないため、今は実施していないようだ。</p> |
| 委員長 | <p>今回出た意見を含めて視察報告をまとめ、次回の推進委員会で共有したい。</p> <p>なお、今回オブザーバーとして参加いただいている、石川議員と浅生議員はここで退席となる。</p> <p>《石川議員、浅生議員 退席》</p>                                 |
| 事務局 | <p>(2) 市長諮問内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料をもとに説明</li> </ul>  |
| 委員長 | <p>本日は、市長からの諮問内容をもとに、推進委員会として今後どのように取り組んでいくべきか、委員の意見をいただきたい。</p> <p>なお、項目1、2ともに答申希望時期は令和3年11月であるが、項目2については令和2年11月に中間答申を求められている。</p>                |



|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 項目2について、中間答申を求められている理由は何かあるのか。  |
| 事務局 | <p>項目1については、条例の推進という条例の根幹に関わるものであるため、特に中間答申を求めているものと考えます。</p> <p>項目2については、推進委員会の在り方について問われている。こちらについては、第二期推進委員会において「推進委員会の在り方について検討が必要である」という問題提起をした形で答申している。それに対して答申をいただきたい、そしてこれについては中間答申を求める、という内容である。</p> |
| 委員  | あくまで、途中経過を市長に報告するという考えで良いのではないかと。   |
| 委員長 | 項目2については、第二期推進委員会において推進委員会が主体的にフォーラムを実施することに関して意見が出ており、これまでは条文の解釈で実施ができることとして進めてきた。その点も含め、第二期推進委員会の答申には、推進委員会の在り方について検討が必要である旨の内容を記載している。中間答申については、この部分にかかっていると考えれば良いのか。                                      |
| 事務局 | そのように考えていただいて問題ない。  |
| 委員  | それであれば、これからの1年間で話し合い、市長への中間答申を経て進めていくことを考えると、場合によっては条例改正等も必要になってくるかもしれない。そういう観点から見ると、事前に中間答申を出す意味もあるのではないかと。  |
| 委員  | 中間答申のような場で定期的に市長の考えをうかがえる機会をいただけるとありがたい。  |
| 委員  | <p>焼津市のようにフォーラム等を推進委員会として実施していくのか、茅ヶ崎市のようにアクション・プランを作るなどして仕組みづくりを進めていくのか。戸田市は今、その分岐点にいると思う。</p> <p>アクション・プランのような全庁的な仕組みづくりは難しいかもしれないが、推進委員会としてもこれまで様々な取り組みを進めてきた</p>  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>ため、アクション・プランの一部という形でも良いので、推進委員会として、重視する分野の仕組みづくりを進める形をとってはどうか、という議論だったと記憶している。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>推進委員会としてそのような答申を出すことも可能だと思う。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>現行の条文では、調査の一環としてフォーラム等を実施する形をとっている。附属機関は諮問機関と実施機関の2つに分けられるが、自治基本条例推進委員会は諮問機関として明確に位置づけられている。</p> <p>茅ヶ崎市、焼津市は実施機関として実行委員会を組織し、具体的事業を実施している。</p> <p>同じような例としては、戸田市でも目白大学に委託し、2016年に19～39歳の市民を集めてまちづくりについてディスカッションをした実績があるようである。</p> <p>このような取り組みについても、自治基本条例の理念、市民の参画にあてはまると思われる。</p> <p>ハード面で見ると、まちづくり推進委員会で都市計画に関する市民の意見を聴く機会を設けているようである。</p> <p>その他にも市民意見の聴取等を実施しているが、それを取りまとめる部署がないように感じる。それでは自治はうまく進まないように思う。</p> <p>個人的には、以前より何度か話しているが、自治基本条例を市民生活部の協働推進課が所管していることに違和感を持っている。協働推進課は、具体的な市民活動に関する業務を行う部署であり、主に市民に直接相対する部署であると思う。まちづくりは市民活動等だけではなく、市役所全体の業務に関わるように思う。</p> <p>茅ヶ崎市は、総務部が所管しているということで全庁的な取り組みを進めることができているように思う。そのため、市民討議会でも、各部局からのテーマに基づいて実施できている。そこまで持っていくことができれば、市の自治に対して、市民の参加・参画の機会がでてくる。そのような体制づくりに必要なものを提案するために、「推進委員会の在り方」をメインテーマにして、実行部隊の設置などについて検討すればよいのではないか。</p> |
| <p>委員</p>  | <p>推進委員会も少しずつ成熟してきて、形態も変わっていく。先ほど茅ヶ崎市のアクション・プランが例に出たが、もし今出たような話が</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
| <p>委員</p> | <p>第一期推進委員会が出ていけば、「実現は難しい」という結論になったのかもしれないが、今では、絶対不可能な、雲をつかむような話ではないように委員の皆さんも感じているはずである。</p> <p>その点も含め、推進委員会の中でもう少し話し合っていきたい。</p> <p>これまでの意見を聴いていると、私も戸田市ではなぜ総務部が所管していないのか疑問に感じる。</p> <p>個人的には、仕組みづくりをするためには、まずは行政主導でないといけないだろうと思っている。行政が主となって仕組みを作っていく中で、我々のような市民の声や意見をどのように入れていくのか、という方向性が良いのではないかと思う。</p>   |
| <p>委員</p> | <p>総務部の経営企画課であれば、市役所全体で横断的に実施しやすいのかもしれないが、すでに総合振興計画というものがあるのが現実である。</p> <p>戸田市の現状を考えると、総務部経営企画課と市民生活部協働推進課の更なる連携、というのが現実的な手法なのではないか。</p> <p>第5次総合振興計画では、策定に当たって多くの市民や市議会議員が入って進めることができたのはとても良かったと感じている。</p> <p>茅ヶ崎市のアクション・プランについては、行政がうまくまとめた、という印象を持った。行政の中だけを考えるとこれで良いのかもしれないが、これが本当に市民に対する施策に落とし込まれているのかは正直分からない。総合振興計画にある市の様々な施策に、協働の理念が息づいていることが大事になってくると思う。</p> <p>第4次総合振興計画から第5次総合振興計画に移行するこの大事な時期に、そこに我々推進委員会がどのように働きかけられるのかを考えている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>条例の間では上下関係がないため、戸田市自治基本条例ではあくまで「この条例を尊重する」という表現に留めている。これまでは、自治基本条例より総合振興計画が上位にあったように思う。しかし、実態としては、自治基本条例の理念を踏まえた上で、総合振興計画を策定する形が望ましいと思う。</p> <p>条例制定は総務部経営企画課、制定後実際に推進しているのは市民生活部協働推進課であるが、先ほども出たように、協働推進課では全庁的に進める点を考えると、できる範囲に限りがあるように感じる。</p>   |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>個人的に考えたのは、推進委員会条例に「説明のために委員以外の人を呼ぶことができる」という規定がある。例えば、経営企画課の職員に来ていただき、総合振興計画について説明いただく機会を設けても良いのではないかと。そこでいただいた説明を、推進委員会の立ち位置を考えるきっかけにしても良いのではないかと。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>自治基本条例の中には、総合振興計画という文言はあえて入れなかったが、この条例を最大限尊重する、ということは明言している。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>経営企画課でも独自に若者会議等を実施している。茅ヶ崎市であれば、そのような取り組みはアクション・プラン等に位置付けられるはずである。</p> <p>経営企画課と協働推進課でうまく連携して、第5次総合振興計画を良いものにしていくための機運を高めていくなどを進めていければ良いと思う。その部分に我々も全面的に協力していきたい。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>私も個人的には、自治基本条例は総務部が所管するべきだと思うが、今そのような議論をしても何も始まらない。現状の中で何ができるのかを考えなければならない。</p> <p>市民生活部協働推進課と、我々推進委員会で、市民討議会のような市民参加のモデルを一つ示して、全庁的に広めていくことなどができると思う。</p> <p>こうあるべきだと示すのではなく、実践しながら市民参加の手法、モデルを示していければ良いと思う。</p> <p>市民協働の範囲内で、高校生などの若者や様々な人が参加できる仕組みを提案していく。それを各部局が実践していけるようにしていく、というような流れを作る方が良いと思う。</p> <p>今回の茅ヶ崎市の視察を経て、多くの委員がアクション・プランに興味を持ったのであれば、戸田市でも将来的にミニアクション・プランのようなものを作ることを考えていければ良いのではないかと。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>それが実現できれば、条例の推進についての検証も可能になると思う。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>以前、自治基本条例フォーラムに参加した時に、事例発表をした美術部の高校生と話をすることがあった。その時に、作品を発表する場</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 委員 | <p>がないという意見を聞き、新たな気付きを得ることができたと思っている。その後、様々な働きかけがあり、市役所での展示等が増えたと聞いている。私自身としても一つの協働体験となっている。</p> <p>第4次、第5次総合振興計画の制定過程では、市民からとても多くの意見が出されていた。その中には、まちづくりに関わりたいという意思はあるが、どうしてよいか分からない、きっかけが欲しい、という意見も出てきていた。フォーラムのような協働、協議の場があれば、関わった人はまちづくりに対する意識が高まっていくと思う。</p> <p>推進委員会の役割としては、協働を軸として、議会や行政を含む市民の意識の高まりを継続的に作っていくことが必要だと思う。</p> <p>私が所属しているオール運営委員会でも、どのように市民活動を応援していけば良いか迷っているところである。これまでに長い経緯があるが、市民活動を応援する背景には、何かしらまちに関わることで、まちに対する意識が変わっていく、居場所ができていく、という点が挙げられる。そのための機会を増やしていくということで、ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）ができた。TOMATOが実行部隊として市民活動の支援、応援をしているが、根本的な部分を見ると、戸田市がどのような形で市民活動を応援していくのか、協働推進課でも苦慮していると思うが、いまこそ協働の考え方をもとにプラン作りをする必要があると思う。</p> <p>例えば、フォーラムを実施して意識を変えていくやり方や、何か協働の形で市民活動支援の在り方を考えていくやり方などがあると思う。それであれば、市民生活部の協働推進課が事務局として進める意味があると思う。そのようなことを答申書に盛り込みながら進めていければ良いと思う。</p> <p>様々な機会を設けて、意識が変わっていくことをエビデンスとして将来につなげていく。様々な場を設けながら、市民活動の支援の在り方を推進委員会が中心となって提案していく。それが、推進委員会が担う役割のように思う。</p> <p>そのような話はTOMATOでもよく話が出ている。TOMATOとして、何がしたいのか、何ができるのか、様々な手法で周知していても、TOMATOの存在自体を知らない市民もいるのが現状である。</p> <p>昨年、TOMATOでもエコバッグを作って市内のイベントで来場者に配布した。そんな中で、TOMATOが主催していた「ふらっと</p> |
|----|---|

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>広場」が令和元年度から実施されなくなってしまった。何ができるのかを考えている人たちにとっては、大きなイベントで活動する機会が一つなくなってしまった。</p> <p>市民活動団体等の活動を広く周知するためにどうすれば良いかは、課題として挙げられている。戸田ふるさと祭りをはじめとするイベント等と連携するという話が出ているが、それでよいのかどうかも不明な部分がある。</p> <p>現状、市民活動に対して熱い思いを持っている人は多いように思う。特に若い世代、子育て世代の団体はとて勢いがある。あいパルで開催されている「ママフェス」というイベントは来場者も多く良いイベントだと思う。そういった団体の方たちは多くの意見を持っていると思う。そのような人たちをフォーラム等と呼ばば、戸田市に対する想いを話してもらえと思う。そんな人たちを巻き込めれば良い。TOMATOだけではできる範囲に限りがあるので、もっと市と連携してうまく進められれば良いと思う。自治基本条例についてはまだ深く理解できていないが、市民活動については、このような状況である。</p> |
| 委員  | <p>事務局である協働推進課が所管しているボランティア・市民活動団体が抱えている課題を解決していく、というのは、自治基本条例と関連できる部分だと思う。そこにアクション・プランにつながるフォーラムのような分かりやすい舞台を設定して、勢いのある方を巻き込んで、話をしてもらおうなどする。そこで出た課題をどうやって協働で解決に結びつけるのか、その結論まで見届けることができればミニアクション・プランにもつながる。それであれば、協働推進課が事務局で進めていく意味があると思う。</p>   |
| 事務局 | <p>これまで事務局として関わり、フォーラムについて審議していく中で、調査の一環としてフォーラムを実施する、行政主導で仕組みを作るべきではないか、といった様々な意見をいただきながら、議論を繰り返し、ようやくフォーラムの議題にたどり着く、というのがこれまでの推進委員会の流れだったと思う。フォーラムの実施について議論していく中で、そもそも推進委員会としてできるのか、といったことなど様々な議論に展開してしまっていた。</p> <p>今回諮問として推進委員会の在り方について問われているため、推進委員会として、行政主導、三者協働、どちらの手法が戸田市に合っているのか一度結論を出していただいても良いのではないかと。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>総務部で所管し、アクション・プランをもとに全庁的に進捗管理をしていく手法、現状のまま直接市民と相対している協働推進課で所管し市民を巻き込んで進めていく手法、どちらの手法に舵を切るのか、明確にしてはいかがか。</p> <p>それをもとにさらに意見を出しながら2020年11月の中間答申につなげる。同じことで何度も議論しないように進めていく必要があると思う。</p> <p>推進委員会としても、一般的に言われる諮問機関としての役割に徹し、それとは別に実行部隊を組織する手法と、推進委員会として実行部隊の役割も担っていく手法、どちらで進めていくのか中間答申に向けて議論しながら進めていく必要があるのではないか。</p> |
| 委員長 | <p>あまり白黒はっきりさせない方が良くかもしれない。</p> <p>自治基本条例は、行ったり来たりしながら、模索しながらゴールに向かっていくものでもあるように思う。</p>   |
| 委員  | <p>戸田市子ども会育成連合会に所属しているが、当初第一期推進委員会の委員依頼が来た時は、連合会としての活動にも結び付けられると思い、良い機会だと感じた。</p> <p>推進委員会が始まって自治基本条例の考え等を聞くと、その理念はすでに団体として実践していたということに気づいた。無理に周知啓発をする必要はなく、すでにやっていることが自治基本条例の理念であると感じることができた。知らないうちに協働は実践されていたのである。子ども会育成連合会以外に、学校運営委員会においても、様々な方が集まって子どもたちのために何ができるのか議論をしている。</p>                                   |
| 委員長 | <p>なかったものを新たに作ったのではなく、すでにあるものを下支えするという理念が自治基本条例の根底にはある。</p>   |
| 委員  | <p>前回の焼津市の視察に参加したが、様々な立場の市民が本当に様々な意見を出し合っており、非常に良い経験となった。</p> <p>フォーラム、視察といった様々な経験を通して、委員会としての基礎固めをし、将来的な大きな実績につながるよう進めていければ良いと思う。</p>  |
| 委員長 | <p>今回出た意見をもとに次回の推進委員会でも引き続き議論したい。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>(3) 自治基本条例フォーラムについて<br/>・会議資料に基づき説明</p>  |
| 委員長 | <p>質問等あるか。<br/>これまで、フォーラムの実施方法について、様々なアイデアが出たと思う。<br/>フォーラムの実施回数については、2年間のうちに1回実施するという方向で良いのか。</p>                                |
| 事務局 | <p>前回の委員会では、第三期推進委員会の2年間の任期のうちに1回実施すれば良いのではないかと、という意見が出ていたと記憶している。<br/>本日の推進委員会で実施時期を決めていただければ、市役所大会議室であれば事務局で確保することができそうである。</p> |
| 委員  | <p>自治基本条例フォーラムが、毎年度市民大学の認定講座となっているが、その必要性はあるか。</p>  |
| 事務局 | <p>市民大学の趣旨を考えると、認定講座となっている意義があると考えている。また、市民大学認定講座になっていることが、市民に対する一つの広報活動にもつながっていると思う。</p>   |
| 委員  | <p>年度末に実施が確定している場合のみ掲載した方が良いのではないか。</p>   |
| 事務局 | <p>これまでは毎年度必ず実施をしていたので、実施しないということは想定していなかった。<br/>ただ、毎年度やらなくてはいけない、という形で義務的に実施するものではないという考えもある。</p>                                |
| 委員  | <p>フォーラムではなく、推進委員会として何かをする形でも良いのではないかと。講師として市民委員何名かが条例について話をする形でも良いのではないかと。</p>   |



|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>今いただいたご意見の内容は、市民大学とは別の「まちづくり出前講座」という事業に該当するものである。</p> <p>これまでは、まずテーマや発表者をどうしようかと議論していたが、今提案いただいた手法であれば、推進委員会でテーマだけを決めて、推進委員会委員が発表する形で実施できる。そして、発表の後に参加者同士で議論するという形であれば実施可能であると思う。</p>  |
| 委員  | <p>参加者の前で話す立場になれば、委員自身にとっても、自治基本条例について再確認するなど更に知識を高める機会にもなり、とても良い経験になると思う。</p>  |
| 事務局 | <p>会場の手配を考えると、1月中旬から2月上旬であれば実施可能だと思う。</p> <p>現状では、1月16日（土）、17日（日）、2月11日（祝）を実施日の案として提示させていただきたい。</p> <p>市民大学の関係でいうと、もし来年度の実施が決まれば、より多くの参加者を募る意味でも認定講座として提示する方が良いと考える。</p>  |
| 委員長 | <p>詳細は次回以降に改めて議論したい。委員から他に何か質問等あるか。</p> <p>《質問等なし》</p> <p>(6) その他</p>   |
| 事務局 | <p>・職員研修（教養講座「協働」）について</p> <p>1月27日（月）に「自治基本条例」をテーマに職員研修を実施した。当日は、横山委員長、松下委員、播委員の3名に講師をお願いした。</p> <p>第一部で、松下委員に「自治基本条例」制定の背景や条例自体の内容、市職員が持つべき意識等について講演をいただいた。</p> <p>第二部では、横山委員長と播委員から、条例制定に関わったきっかけや、条例制定過程や制定後における取り組み、その過程で感じたことなどをお話しいただいた。</p> <p>事務局としても、3名の委員のお力により非常に有意義な研修とな</p> |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>ったと感じている。</p> <p>研修を受講した職員のアンケートでも、職員研修の場で市民の生の声を聞く機会はあまりないため、新鮮でとても勉強になったなどの意見が多く、とても好評だった。</p> <p>委員</p> <p>市民が職員研修で話をするのはあまりない。他の自治体で、戸田市で行われた今回の研修について話すと、とても驚かれる。そういった意味でも良かったと思う。市民二人の話もうまく素晴らしかった。</p> <p>今回のように職員の前で話をするだけでなく、様々な手法での実施を考えていけると良い。</p> <p>事務局</p> <p>事務局としても、今回の研修はとても良かったと感じている。今後も様々な手法での実施を検討していきたい。</p> <p>事務局</p> <p>・さくらパルまつりでの啓発活動について</p> <p>以前より話が出ている、3月の「さくらパルまつり」での啓発活動について、新型コロナウイルスの影響で、現在実施が不透明な状況である。実施の有無について確定次第改めて連絡をさせていただく。</p> <p>委員長</p> <p>他に質問等あるか</p> <p>《質問等なし》</p> <p>4 事務連絡</p> <p>5 閉会</p> |
|--|---|